

研修Ⅰ 三豊・観音寺 クラス全員の子どもの「書く活動」を充実させるために
「のりもののことをしらべよう - 『いろいろなふね』 -」(1年)

1 提案の概要

(1) 主張点

- ① 「順序」と「つながり」を核にした読むこと・書くことの関連指導
 - ・ 「役目→そのための装備(工夫)→使い方」という順序性を重視する。
 - ・ 役目に対応した2つの装備を、使い方において一文にまとめるつながりに着目する。
- ② 小学校1年生の生活経験・言語経験を踏まえた書くことの指導
 - ・ 「のりものカード」づくりへの教材選定の配慮と文型の指導

(2) 実践発表

- ① 「本単元で育成する力」と「教材としての価値」
- ② プレゼンテーションを使った読みを深めるための学習活動の例
 - ・ 役目と工夫を関連付けて読むために、人々の願いを想像する。
 - ・ おたずねごっこで役目と工夫を確認する。色分けをして書き方の順序に気付かせる。
 - ・ 必要な情報を取り出すメモを書く。
 - ・ 「もし、〇〇がなかったら～」と仮定して考える。
 - ・ イラスト化して船の特徴や違いを読む。
 - ・ 船になりきって自慢を書く。(擬人化)
 - ・ 1時間ごとの評価をする。
 - ・ 「乗り物カード」の発表をする。
- ③ 「乗り物カード」作りについて
 - ・ 子どもが生活の中でよく知っている「車」から選ばせよう。
 - ・ 習得の時と同じ形式のワークシートを使おう。
 - ・ 役目に合う装備を選ぶには、2つの乗り物を比べるとよい。

(3) 演習

- ① 乗り物について調べたこと(テレビ中継車)をワークシートにメモする。
- ② メモをもとに、「説明のわざ」をつかって「乗り物カード」を書く。

2 成果

- ・ プレゼンテーションを使った読みを深めるための学習活動は、児童の読むこと・書くことの実態に即して、より主体的な活動につながった。
- ・ 乗り物アンケートをとり、児童の知識や経験を踏まえた情報提供・読み取りや「説明の技」を使った文型の指導は、児童一人ひとりの「書く活動」の充実につながった。
- ・ 1年生の段階での具体的支援が、メモをして情報を整理する力を育て、中・高学年に生きる。

3 課題

- ・ 低学年における「順序」の指導を教材分析し、前後の学年の系統を学ばせることが大切である。系統的に学習を進め、時間を節約していきたい。
- ・ 書くことの活動において、「自分の生活経験からメモをとる」「文章を読んでメモをとる」活動を重視していくことが大切である。

クラス全員の子どもの「書く活動」を充実させるために

「のりもののことをしらべよう —『いろいろなふね』—」(1年)

主張点

- 1 「順序」と「つながり」を核にした読むこと・書くことに関連指導
 - ① 「役目→そのための装備(工夫)→使い方」という順序性を重視する。
 - ② 役目に対応した2つの装備を、使い方において一文にまとめるつながりに着目する。
- 2 小学校1年生の生活経験・言語経験を踏まえた書くことの指導
 - ① 「のりものカード」づくりへの教材選定の配慮と文型の指導。

1 本単元で育成する力

この単元で育成する力

〈習得〉

- 写真と本文を結び付けながら叙述に即して読む力
- 書かれている順序を意識しながら読む力
(役目・装備や工夫・使い方)
(客船・フェリーボート・漁船・消防艇)
- 役目から使い方までを論理的に関連付けて読む力
- 4つの船を対比して読む力

〈活用の場面〉

- 科学的な本を読む。
- 基本的な文型を使って説明の文を書く。
- メモをして情報を整理する。
- 乗り物カードを作る。



2 『いろいろなふね』の教材としての価値

- (1) 文章構成(はじめ・中・終わり)を捉えやすい
船の写真を本文に合うように貼らせる。写真の数でまとめて述べているのか具体例なのかを捉えられるようにする。
- (2) 段落の始めが「○○は、…」の書き出しになっているので分かりやすい。
- (3) よく似た文型の繰り返しになっている。

使い方(緑)	工夫(青)	役目(赤)
します。 人は、 <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> たり <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> たり	このふねのなかには、 <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> があります。 (をつんでいます。) <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> や	ねです。 <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> は、 <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 5px auto;"></div> のためのふ

基本文型を抜き出したり色分けしたりすることによって書きぶりの良さを知ることができる。説明の技として意識してカード作りに活用する。

3つの順序を、1年生にとって分かりやすい表現で捉えさせる。

- (4) それぞれの船について役目(仕事・目的)・工夫(装備・設備)・使い方の順番で書かれている。だから、3つ目の漁船からは、予想(きっと、つぎも最初が役目で…)をたてやすく、自力読みの力を付けることができる。

(5) 工夫と使い方について・・・2つの工夫(装備)の使い方を1文で書いている。

客船 客室 ⇒ 休む。 <並列>
食堂 ⇒ 食事をする。 □ たり □ たりします。

フェリーボート 客室 ⇒ 休む。 <順序>
車をとめておくところ ⇒ 車を入れる。 □ から □ します。

漁船 群れを見つける機械 ⇒ 見つけた魚 <順序・場合>
あみ ⇒ 網で捕る □ を □ します。

消防艇 ポンプ ⇒ □ <条件>
ホース ⇒ □ □ あると □ します。

3 読みを深めるための学習活動の例

役目と工夫を関連付けて読むために、人々の願いを想像する。

客船

役目

たくさんの人を運ぶ。

人々の願い

楽しい旅行にしたい。
楽に行きたい。

工夫

客室・食堂がある。

漁船

役目

魚を捕る。



人々の願い

たくさんとりたい。
はやくとりたい。

工夫

群れを見つける機械
や網を積んでいる。



それぞれの船によって役目や願いに合わせて工夫している。

おたずねごっこで役目と工夫を確認する。色分けをして書き方の順序に気付かせる。

Q「客船の役目はなんですか？」

A「客船は、たくさんの人を運ぶための船です。」

Q「そのためにどんな工夫をしていますか？」

A「客室や食堂があります。」

※ 初めは教師対子どもです。慣れたら子ども同士です。

必要な情報を取り出すメモを書く。

客船・・・ 人を運ぶ 客室 食堂 休む 食事をする

フェリーボート・・・人と車を運ぶ 客室 車をとめておくところ とめる 休む

観光バス・・・人を運ぶ 大きな窓 座席 テレビ マイク 休む 楽しい

※ 習得の学習で言い切りの型で書いたり抜き出したりする活動をしておくと読み取ったことを整理しやすくなる。また、カード作りの時にも取材メモを書きやすくなる。

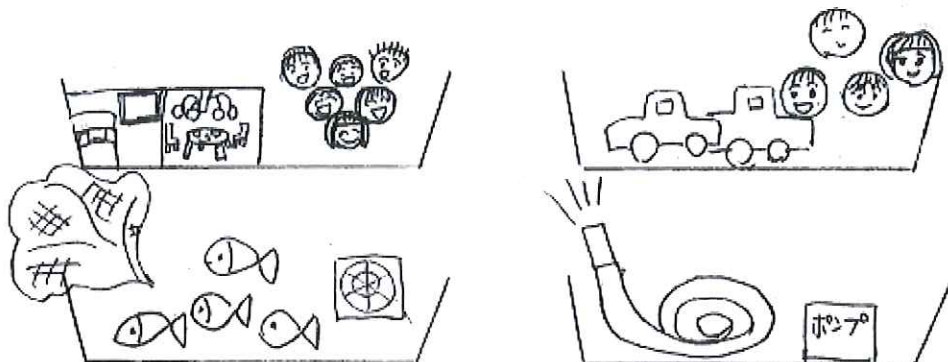
「もし、〇〇がなかったら～」と仮定して考える。

もし、網を積んでなかったら魚を見つけてもとることができない。それでは困る。

もし、食堂がなかったらおなかがすいてしまう。楽しくない。など

※ 役目と工夫を関連付けて考えたり、網や食堂があることの良さを考えたりすることができる。

イラスト化して船の特徴や違いを読む。

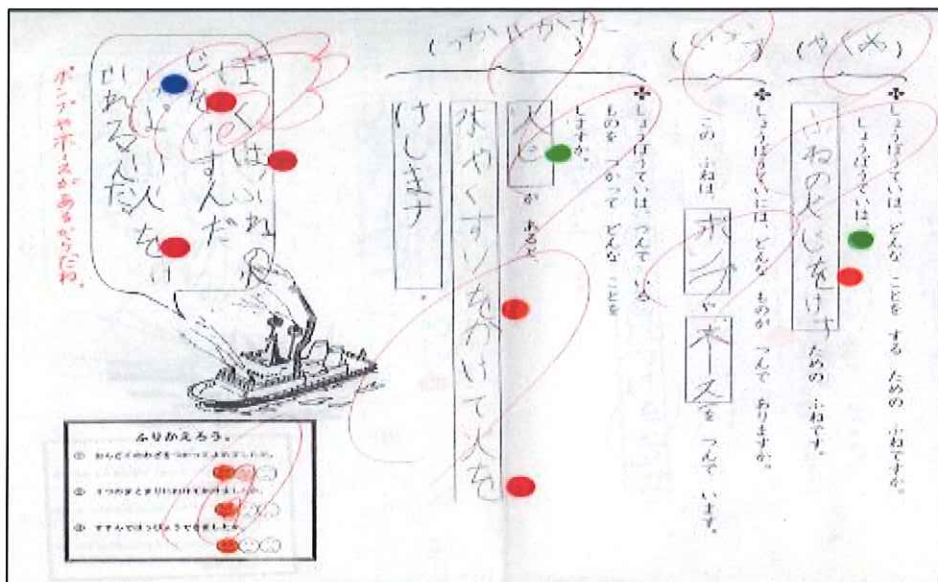


船になりきって自慢を書く。〈擬人化〉

実感的に読むために、物語文の時だけでなく、説明文でも吹き出しに自慢を書く。

文章に寄り添い、自分が船になったつもりで書き、書いたものを交流することでさらに楽しんだり想像したりすることができる。

また、書いた物にシールを貼ることで表記に関して意識するようになる。



1時間ごとの評価をする。

ワークシートに自己評価のカードを組み込んでおく。教師は、子どものつまづきや学習意欲を把握し、次時の学習に活かす。

乗り物カードの発表をする。

電子黒板などに提示して発表すると、興味を持って発表を聞くことができる。

ふりかえろう

のりものについてたくさんしらべたいですか。

「いろいろなふね」は、はじめてしたことやすごいなあとおもったことなどがたくさんありましたか。

かんそうぶんのかきまちがいはありませんか。

(1) 目標 ○ 漁船について「もし～がなかったら」と考えたり，漁船の自慢を書いたりすることで，魚をたくさん捕りたいという願いに気づき，役目や工夫を関連づけて読むことができる。

(2) 学習指導過程

	学習活動	予想される児童の活動と意識の流れ	○支援 ◇評価
つかむ	1 本時の学習のめあてをつかみ音読する。	フリーボートは人や自動車を運ぶための船だったよ。フリーボートの役目や工夫が分かったよ。	○ 前時の学習同様，漁船の役目や工夫や人々の願いを見つけていくことを確認する。
チャレンジする	2 漁船の役目や工夫を読み取る。 (1) 一人で読み，教科書に役目と工夫の場所を見つけて線を引く。 (2) みんなで意見を出す。 (3) 役目や工夫を「たずね」「こたえ」の対話形式で話し合う。 ①何をするための船ですか ②どんな工夫をしますか。 ③もし～がなかったらどうしますか。 (4) ワークシートに書く。	ぎよせんのやくめやくふうをみつけよう。 初めに役目を書いていたよ。漁船は魚を捕るための船だよ。 役目の後に工夫が書いてあったよ。機械や網が積んであるよ。 客船やフリーボートとは役目が違うから工夫も違うね。 「むれ」って魚がいいことだね。機械は運転席にあるんだね。こんなに大きな網なんだね。機械と網があるからたくさん捕れるんだね。便利だね。 機械がないと広い海のどこに魚がいるのかわからないなあ。網がないと少ししか捕れないな。	○ 小見出しをつけたものをもとに漁船の段落を見つけてよ。 ○ 繰り返し読むこと（全体で，グループで，一人で）で文章に慣れるようにする。 ○ 今ままで読み取ってきた「客船」や「フリーボート」と同じように学習を進めることを見通しボードで確認する。 ○ 役目や工夫が書かれているところに線を引かせよ。 ○ 前時までに学習した段落構成（役目と工夫と使いたい方）を掲示しておく。 ○ 「むれ」や魚群探知機などは絵や写真を使って，イメージさせる。 ○ 「もし～がなかったら」と考えさせることで役目と工夫の関係をたくさん捕りたいという人々の願いを捉えさせる。 ○ 質問・答えをペアで行い，説明的な話し言葉に慣れさせる。 ○ 教科書の文章に，役目は赤，工夫は青，使いたい方は緑で囲む。 ○ キーワードの言葉を使って書かせる。 ◇ 漁船の役目や工夫を読み取って，自慢することが書けたか。
高める	3 「漁船」になって自慢を書く。	ぼくは漁船だよ。機械で魚の群れを見つけて大きな網でたくさん魚を一度に捕まえるんだ。魚をみんなに食べさせてあげられるよ。	○ 漁船に機械や網を描き，イラストで視覚化させ役目と工夫の関係を捉えさせて，漁船の特徴や他の船との違いを理解させる。
ふりかえる	4 今日の学習の自己評価をする。	次は消防艇の役目や工夫を見つけてよ。	○ 自分や友達のがんばりを発表し合うことで次時への意欲を高める。

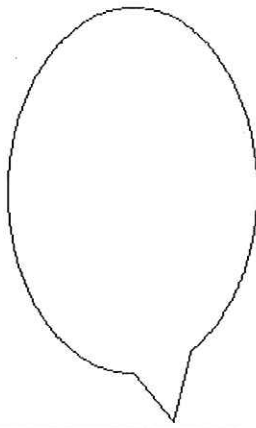
ワークシート

ふりかえろう

☆おんどくのわざをつかってよめましたか。

☆三つのまどまりにわけてかけましたか。

☆すすんではっぴょうでできましたか。



漁船の写真

☆ぎよせんは、つんで を しますか。 	☆ぎよせんには、どんな このふねは、 をつんで います。 	☆ぎよせんは、どんな ことを する ためのふねで すか。 ぎよせんは ふねです。
-------------------------------	--	---

一ねん（くみ なまえ）

板書計画

魚群探知
機の写真

さかい
←
みつけられない。

あみ
←
にげられてしまう。
たくさんとれない。

漁船の
イラスト

さかいやあみが
あるからたくさ
んとれるよ。
すごいだろう。

やくめ
さかなをとる

ねがい
たくさんとりたい。

さかなのむれをみつける
さかいやあみをつんでいる。

め
ぎよせんのやくめやくふうを
みつけよう。

おたずねごっこ
ヒントカード

□は□をするため
のふねですか。

□はどことなくふう
をしていますか。

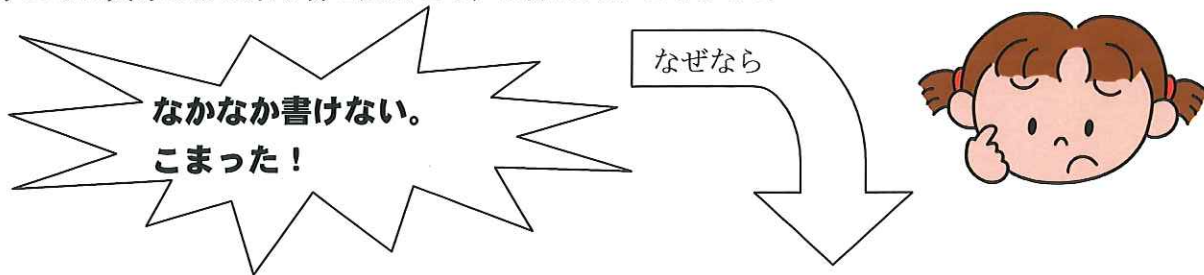
□がありません。
どうなりますか。

□と□がありません。
どうなりますか

- みとおしボード
- 1 よむ→めあて
 - 2 ぎよせん
 - 3 おたずねごっこ
 - 4 はなしあい
 - 5 じまん はっぴょう

4 「乗り物カード」作りについて

子どもに興味のある乗り物を選ばせて、実際に書かせてみると



- 読み取りの力と書く力は必ずしも一致しない。(読み先行)
- 教科書の文は、学者や専門家が、初めて読む子どもたちにも分かるように書いたもの。子どもは、初めて知ったことを初めて書くので、経験や知識のないものについて説明する文を書くのは難しい。
- 1年生にとっての順序は、行動(したこと)であり、役目・工夫・使い方では難しい。
- 2つのことを(工夫)を1つの文(使い方)で書くのは難しい。



だから

(1) 子どもが生活の中でよく知っている「車」から選ばせよう。



ふね

きやくせん
フェリーボート

ぎよせん

しょうぼうてい

はこぶ

捕まえる
とる

けす

くるま



(2) 1つの工夫を1つの文で書いても良いのでは。

(3) 2つのことを書くのであれば

- ～たり～たりする
- ～してから～する
- ～すると～する

の中から選ばせる。

(4) 習得の時と同じ形式のワークシートを使おう。

(5) 役目に合う装備を選ぶには、2つの乗り物を比べるとよい。

[Empty box]

「ねん（ ）くみ なまえ（ ）

のりものについてしらべたことをメモしましょう。

<p>やくめ</p>	
<p>くふう （あるものやあつんでもあるもの）</p>	
<p>かつたかい （どんなことか）</p>	

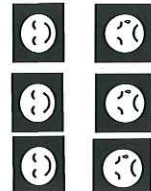
なにからしらべましたか。

ふりかえらう

☆しらべたことはたのしかったですか。

☆しらべたことをいっばいかけましたか。

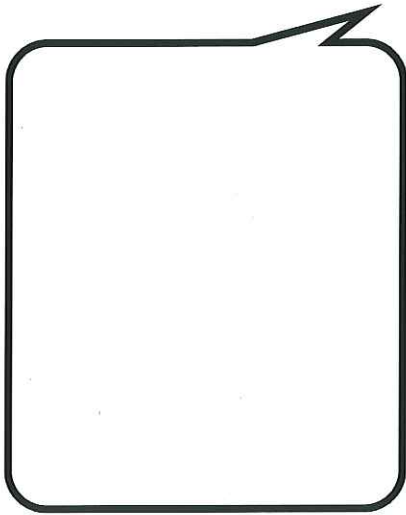
☆かきまちがいはありませんか。



のりものカード

「ねん（ ）くみ なまえ（ ）

--	--



ふりかえろら

☆せつめいのわざをつかってかけましたか。

☆ていねいにかけましたか。

☆かきまちがいはありませんか。

